

総合評価（“市長2年目終了時点の目標”に対する達成率）

越市長自身による評価	79.7%	【内訳】 554/695
藤井による第三者評価	64.7%	【内訳】 440/680

項目	市の評価 (市長自身)	第三者評価 (藤井)	コメント
健診の補助	◎	◎	平成26年度以降の進捗目標改ざん
高齢出産支援	◎	◎	
不妊治療支援の拡充	◎	◎	
産婦人科医、助産師、市民病院の連携による周産期医療の安定	◎	◎	
母子手帳の有効活用	◎	○	母子手帳製本不備の為、再度作成
妊婦のリスクスコアの有効活用による新生児死亡率低	◎	◎	
「家庭的保育事業」や「認可外保育園」「駅中保育園」を含めた保育事業の創設	◎	◎	平成26年度以降の進捗目標改ざん
三歳児保育の推進	△	△	全体的に改ざん。目標先送り
預かり保育の拡充	◎	◎	
幼保一体との連携	◎	◎	
保育の一時預かりの拡充	○	○	平成25年度目標の一部に改ざん
病児、病後児童保育施設の設置(東部、南部)	◎	○	平成26年度以降の進捗目標改ざん
児童クラブの充実	◎	◎	平成26年度以降の進捗目標改ざん
児童クラブ施設の拡充	◎	◎	
放課後プランのエリア拡大	◎	◎	全体的に進捗目標を上方修正
小学校4年生から6年生の医療無料化	◎	△	平成25年度以降の進捗目標改ざん
男性の育児休暇推進	◎	○	施策効果が不十分
中小企業の男性育児休暇の導入支援	◎	◎	進捗目標を前倒し実施
中学校のスクールランチの早期開始(地元事業者の活用、地産地消の推進)	◎	◎	
老朽化した学校・園施設(水回り・トイレ)の改修	◎	△	平成24年度以降の進捗目標を改ざん
教育環境の整備(エアコンの導入)	◎	◎	
放射線検知器の整備	◎	◎	平成25年度以降の進捗目標改ざん
職員の増員(副担任制)	◎	◎	いじめ対策担当教員により代替
地域団体(体協、社協、民生委員など)やフリースクールなどとの連携強化	◎	○	スクールカウンセラー配置事業などが削除
保・幼・小・中の連携強化	◎	○	概ね計画通りだが成果に乏しい
児童虐待の早期発見・早期対応	◎	◎	

子育て支援

研究開発学校制度の活用などによる外国語活動教育のモデル都市化	○	○	
放課後外国語教室の創設	○	×	放課後外国語教室は開設されていない
姉妹都市やその他海外都市との交流研修、ホームステイ拡充	◎	○	ランシング市以外の交流はあまりない
インターネット通信の活用	△	△	
外国人アシスタントの積極採用	◎	○	平成25年度は検討のみ
多文化交流事業への子どものボランティア参加	◎	○	めだった成果が見られない
小計	92.5% (148/160)	76.9% (123/160)	

項目	市の評価 (市長自身)	第三者評価 (藤井)	コメント
地域のコミュニティの充実(小学校放課後対策などで	○	○	
生涯学習への支援	○	○	
生涯スポーツへの支援	○	△	平成26年度以降の進捗目標改ざん
介護予防の充実	○	○	
働きたい高齢者の職場をつくる仕組みの構築	○	△	施策は展開。しかし雇用創出は限定的
特別養護老人ホームに入らずに自宅で介護ができる社会システムの構築	○	○	
介護者の心身の健康への配慮、介護うつなどへのサ	○	○	
見守り体制の確立	○	○	
ホームヘルパーの拡充	○	○	
介護サービスの質を更に高める	○	○	
地域医療機関と総合病院の連携強化	◎	◎	
家庭派遣可能な「在宅支援看護師」の育成と支援	○	○	
往診可能な「家庭医」「地域医」の育成と支援	○	○	
障害者雇用率の向上	○	○	公共場所での雇用機会拡大が削除
市役所での採用率の向上	○	○	
点字試験などの障がいに応じた採用試験、方法などの	△	△	
グループホーム、共同作業所などへの支援	◎	○	平成25年度以降の進捗目標改ざん
発達障がいへの対応(相談窓口)	◎	○	平成26年度以降の進捗目標改ざん
市民病院の障害者リハビリセンターの充実	△	△	
デマンドタクシーやコミュニティバスについて交通事業者・住民・行政による検討	△	△	全体的に進捗目標を改ざん
地域で活動する住民NPO育成と制度的支援	○	△	協議開催されるも停滞
JR湖西線各駅へのバリアフリー改修の検討	○	○	
小計	62.7% (69/110)	56.4% (62/110)	

	項目	市の評価 (市長自身)	第三者評価 (藤井)	コメント
観光	琵琶湖の水辺とふれあいまちづくりの推進	◎	◎	
	琵琶湖の景観を基本としたまちづくり(湖岸の高さ規制)	◎	○	平成27年度以降の進捗目標改ざん
	観光資源として大切に活用することで保存と維持	◎	◎	
	市長自ら国内、海外へのトップセールス	○	△	海外へのトップセールス未実施
	京都から観光客を呼び込む魅力的な観光ルートの創設	◎	○	京阪三条観光案内所撤退。ちはやふる事業の進捗計画改ざん
	民間企業とのタイアップによる巡回バスの検討	○	○	平成25年度以降の進捗目標改ざん
	湖上交通、琵琶湖疎水、近江八景等の活用	○	△	平成26年度以降の進捗目標改ざん。民間活力の創出事業を削除
	国際会議、企業の研修・展示会、学校の体験学習・合宿・修学旅行、学会、スポーツイベントなどの誘致	◎	○	国際会議、修学旅行、学会などでは目立った成果が上がらず
	土産物コンテストなどで大津市の名物お土産物を創出	◎	○	地酒開発は平成25年度内に実現せず
	小計	86.7% (39/45)	64.4% (29/45)	

	項目	市の評価 (市長自身)	第三者評価 (藤井)	コメント
産業振興	トップセールスによる企業誘致	○	○	
	自然環境保全や新エネルギーに関する企業の誘致・集	○	△	成果不十分
	交通の要所であることを活かし物流の事業者の拠点を	○	○	
	市長のリーダーシップのもと中小企業振興戦略の策定	○	×	全体的に進捗目標を改ざん
	国・県と連携しワンストップサービスの実施	○	○	
	海外販路拡大への支援	×	×	
	共同研究や新規事業への産学官民の連携強化	◎	○	連携強化図るも道半ば
	学生への就職PRサポート	◎	◎	
	中学校の昼食提供(スクールランチ)にあたり地元事業者を活用(早期開始、地産地消の推進)	◎	◎	
	専門窓口による高校・大学、行政が一体となった就職支援	◎	○	各種施策実施するも教育機関と行政が一体となった就職支援とまでは言
	起業家支援の拡充	◎	○	各種施策実施するも成果不十分
	母子家庭等就業・自立支援センターの充実	○	○	
	生産から加工・販売まで6次産業化の促進	○	△	全体的に進捗目標を改ざん
	食のブランド化(素材・加工品)	◎	◎	平成25年度以降の進捗目標を改ざん
	高齢者雇用、若者雇用との連携	○	○	
中学校の昼食提供にあたり、地産地消を推進(早期開始、地元事業者の活用)※再掲	○	-	※再掲のため藤井評価では除外	

	県産木材の活用推進	△	×	ほぼ成果なし
	獣害対策への取り組み充実と強化	◎	×	全体的に進捗目標を改ざん。実施内容は当初目標に遠く及ばず
	小計	71.1% (64/90)	50.5% (43/85)	

	項目	市の評価 (市長自身)	第三者評価 (藤井)	コメント
防 災	市長と知事の対話による連携	◎		
	大津市職員と滋賀県職員の連携による活性化	○	△	連携は限定的
	災害リスク情報の共有と自助・共助・公助の重層的備えの強化	◎	○	県流域治水方針や安全度マップの共有は十分ではない
	防災士の資格取得支援	◎	○	進捗目標を下回る。平成26年度以降の数値目標が削除
	要援護者リストの整備と活用	○	○	
	3者(市民、地元企業、行政)協働による避難訓練の開催	◎	△	平成25年度事業は実施されず
	狭隘道路の解消	○	○	
	東日本大震災の経験の反映	◎	○	市役所庁舎建て替え問題が停滞
	国、県、事業者への必要な申し入れを市長が行う	◎	◎	
	原子力対策編の策定を含む地域防災計画の策定・避難体制・防護体制の整備の推進	◎	◎	
	モニタリングの整備の推進	◎	◎	
	ガイガーカウンターの整備	◎	◎	
	安定ヨウ素剤の備蓄	◎	◎	
	再生可能エネルギーへの転換・公共施設への再生可能エネルギーの導入	◎	◎	
	住宅への再生可能エネルギーの導入、一般家庭での再生可能エネルギーの普及を促進	◎	◎	
	地域住民の声を反映した街づくり	◎	◎	
	大津駅から琵琶湖岸までの町並み整備	◎	○	すべて予定通りとはいかず
	旧街道京町・県庁周辺活性化	◎	○	予定通りとはいかず。一部に遅れ。
	災害時の道路網の確保・多重化	○	○	
	1号線、161号線の渋滞解消にむけて県と国に要望	○	○	
	新名神高速道路の草津一八幡延伸を要望	◎	◎	
	京滋バイパスの国道1号バイパス化を要望	○	○	
	ごみ減量(事業者、市民)の徹底	◎	◎	
	事業者の再資源化100%	◎	◎	
	不法投棄の防止の徹底	◎	△	不法投棄及び野外焼却未だなされる

	小計	90.4% (113/125)	76.8% (96/125)	
--	----	--------------------	-------------------	--

	項目	市の評価 (市長自身)	第三者評価 (藤井)	コメント
行政改革	民間コンサルタントと市民参加による事業仕分け	○	△	施策外部評価実施されず。平成25年度以降の進捗目標を改ざん
	行政サービスの受益と負担の明確化	◎	◎	
	公営事業のあり方について民営化も含め検討	◎	○	単に検討はしたがそれだけ。平成25年度以降の進捗目標改ざん
	市役所の活性化	◎	△	不祥事が多発
	公金管理体制の改善	○	△	公金横領・準公金横領事件が続発
	監査制度の見直し	◎	○	平成25年度以降の進捗目標改ざん
	市民への情報公開・市民への情報発信	◎	△	黒塗り訴訟など。情報公開不十分
	市民と対話する「市長とランチトーク」の実施などの意見	◎	○	開催回数が少ない
	小計	90% (36/40)	55.0% (22/40)	

	項目	市の評価 (市長自身)	第三者評価 (藤井)	コメント
地域課題	地域経営会議	×	×	
	蓬萊駅以北の駅のバリアフリー化	○	○	
	中学校給食の継続	◎	◎	
	湖西線の停車情報をはやく知りたい	○	△	携帯端末情報提供試行は未実施。平成25年度以降の進捗目標改ざん。
	赤十字志賀病院までの交通確保	○	○	
	不法投棄の防止の徹底	◎	-	※再掲載のため藤井評価では除外
	琵琶湖大橋西詰を中心とした渋滞緩和対策	○	△	要望はしているが実現のめどなし
	人口増加で生涯学習施設が不足している	×	×	
	獣害の被害が大きいので対策強化	◎	○	平成24年度目標達成せず
	おごと温泉をもっとPR 比叡山坂本の観光資源をもっと活かしていきたい	◎	○	平成26年度進捗目標を改ざん
	山王際の魅力を全国に発信していきたい	○	○	
	湖西道路の騒音への対応	○	○	
	大津の「顔」として往時の繁栄を蘇らせたい	◎	△	これまでと変わらず
	住宅密集地として防災対策の充実	○	○	
	町屋や旧街道を廃れさせたくない	◎	○	進捗遅れ。平成26年度以降の進捗目標改ざん
唐橋を中心とした渋滞緩和対策	○	○		

高齢者福祉を地域で支えていきたい	○	○	全体的に進捗目標を改ざん
世代交流を通じた自治会活動の活性化策	○	○	
JR膳所駅の改修とバリアフリー化	◎	◎	
公共交通機関の確保	○	○	上田上学区における実証運行、平成26年度以降の進捗目標改ざん
ベッドタウンとしての高齢者対策	○	-	※再掲載のため藤井評価では除外
自然災害への備えをしっかりと	○	○	
安心して子育てできる環境整備	◎	◎	
瀬田駅周辺の治安に不安を感じる	○	○	※全体的に進捗目標を改ざん
大型商業施設周辺の渋滞対策	○	△	要望はするが状況好転せず
小計	68.0% (85/125)	56.5% (65/115)	